

感謝の気持ち

田中 孝太

十月二十三日午後五時五十六分、電気がプ
リンと消え、横にグラグラと激しくゆれた。そ
の時山古志を大地震が襲った。その地震がお
さまった時、みんな外に出た。そして近くの
駐車場に避難した。その日は何も食べずに日
日を過ごした。その二日後、自衛隊のヘリコ
プターで避難所に移った。

山古志小学校

避難所では自衛隊の人がお風呂やたき出し
をしてくれ、たおかげで生活ができた。
その後からボランティアの人が来ていろんな事
を手伝ってくれたり、小さな子と遊んであげ
たりして山古志の人は喜んでいた。そして山
古志の人にもボランティアの人といっしょに協
力して生活していった。そして仮設に引っ越
す時も協力して荷物を運んだりして避難所を
後にした。

No. _____
仮設に移った。ここからは、落ち着いた生活がで
きた。

No. _____
そして冬が来た。山に行くと2m以上雪が
積もっていた。仮設の方も雪が積もった。部
屋には暖ぼう機はなかったが物資できた衣類
で冬をすごした。

ぼくたちは全国の人々に支えられてここま
で生活してこられたので、ここからは募金など
自分達のできる事から復興を目指して、とくな
った方々の分も命を大切に生きていきたい。

山古志小学校